

令和6年度第1回江南市環境審議会

●日時 令和6年8月19日(月) 午後2時00分～午後3時20分

●場所 江南市役所 3階 第3委員会室

●出席委員(13名)

会 長 川 口 邦 彦
委 員 岩 井 喜 美 子
委 員 西 村 和 仁
委 員 林 本 圭 司
委 員 堀 場 敏 之
委 員 宮 澤 恵 子
委 員 小 野 陽 子

副会長 加 藤 幸 治
委 員 富 岡 万 揮
委 員 伊 藤 靖 祐
委 員 栗 本 明 美
委 員 石 井 進
委 員 谷 口 郁 子

●欠席委員(2名)

委 員 山 城 英 俊

委 員 鈴 木 文 隆

●事務局

環 境 課 長 相 京 政 樹
環 境 課 主 任 田 口 恵 里

環 境 課 副 主 幹 近 藤 祥 之

●傍聴者数 0人

●資料

資料1 第四次江南市地球温暖化対策実行計画の進捗について
資料2・3 こうなん環境フェスタについて

■会議経過

○事務局

みなさん、こんにちは、環境課長の相京でございます。

定刻となりましたので、ただいまより、令和6年度第1回環境審議会を始めさせていただきます。

本日は大変ご多用のところ、お集まりいただきましてありがとうございます。委員の皆様におかれましては、ほとんどの方が引き続きということでございますが、愛知県の尾張県民事務所、環境保全課長の小野委員が新たに加わっておりますので、よろしく願いいたします。

なお、本日の会議につきましては、山城委員と鈴木委員の2名が所用のため欠席されておりますのでご報告をさせていただきます。

それでは、これよりの進行は川口会長にお願いしたいと思います。よろしく願いいたします。

○会 長

最近本当に暑いですね。愛知県は25日連続で35℃以上の真夏日で、その25日以前の気温を調べたら33℃が1回、34℃が1回、あとは全部35℃以上で、もう本当に大変なことになっています。海水温が日本の近海では5℃高くなって、スーパーエルニーニョ現象でも3℃なのに、それを完全に超えています。日本近海が、世界中で一番海水温が高い状態になっている。

我々は環境審議会のメンバーです。それぞれの方が皆さんそれぞれ努力されているのは重々承知しています。でも本当に、これを次の世代、その次の世代に繋ぐことを我々が真剣に考えないと、とんでもないことになります。実際にもうなりつつありますが、だからといって環境審議会でも根本的な解決方法が協議できるかといえば難しいとは思いますが、ただ努力はしたいなという気持ちがあります。ぜひ皆さんもそういう気持ちでいていただけたら嬉しいです。

では、限られた時間ですので、次第2の「第四次江南市地球温暖化対策実行計画の進捗について」、事務局から説明をお願いします。

○事務局

お手元に資料①をご用意ください。

江南市地球温暖化対策実行計画は、市の事務や事業から排出される温室効果ガスの排出量などを把握するとともに、温室効果ガスの削減に対する取り組みを進めることにより、市職員が一丸となって、環境負荷の少ない循環型社会の構築に貢献することを目的としたものです。

まずは、資料の6ページをご覧ください。こちらに、第四次江南市地球温暖

化対策実行計画の目標を掲げております。この計画の目標は大きく分けて二つございまして、令和9年度の市の業務から排出される温室効果ガス排出量を、令和3年度と比較して28%削減すること、令和9年度のエネルギー使用量を令和3年度と比較して19.4%削減すること、の2つでございます。これらの2つの目標を達成するにあたりまして、計画初年度である令和5年度の実施結果をご報告させていただきます。

8ページをお願いします。1つ目の目標である、排出量の削減目標についてです。令和5年度のCO₂の排出量は、7,200tで、これは令和3年度の6,056tと比較すると、約18.9%排出量が増加したという結果になりました。

令和5年度に大きく排出量が増加している要因といたしましては、基準年度である令和3年度は、新型コロナウイルス感染症に伴う行動制限の影響で、施設の臨時休館や利用制限が行われていたことや、古知野北公民館が建て替えのため令和3年度末まで休館していたこと、toko+toko=laboが令和5年4月から供用開始したことにより、電気・燃料の使用量が増加したことが主な原因と考えられます。参考までに9ページに、新たに開館したtoko+toko=laboの施設と、令和3年度には計上されていなかった道路照明灯を除いた、公共施設のCO₂の排出量を掲載させていただきました。令和5年度におきましては、それらを除いた場合は令和3年度と比べて11.6%の増加となっております。

活動区分別の内訳については、10ページの表をご覧ください。構成比率、削減率からみると、電気の使用による温室効果ガス排出量が大きく影響していることが分かります。燃料の使用のなかの「ガス・ガソリン機関（定置式）における都市ガス使用」については、図書館の移転に伴い、電気式の空調からガス空調に切り替えたことで、排出量が増加していると考えられます。また、令和3年度はフロン類の漏えいによる排出量が無かったのに比べ、令和5年度は主に教育部局の空調設備のメンテナンスなどにより、温室効果ガス排出量が発生しました。

次に、11ページをご覧ください。施設分類別の削減結果は、表5のとおりです。基準年度と比較して、「行政系施設」は、昨年10月に庁舎や消防署のLED取替工事を行ったこともあり、11.3%の削減と、一定の成果が上がっています。しかしながら、「市民文化系施設」「社会教育系施設」は、市民文化会館の利用増や図書館の移転による施設面積・開館時間の増加などにより、それぞれ排出量が大きく増加する結果となりました。また、「その他施設」については、基準年度には計上されていなかったtoko+toko=laboの共用部や道路照明灯の影響で、大幅に増加しました。

次に、2つ目の目標である、エネルギー使用量の削減について、13ページをご覧ください。令和9年度の最終的な削減目標は19.4%ですが、令和5年度は、

燃料のうちガソリン、灯油、A重油の使用量は基準年度より減少しましたが、空調や照明設備の使用により、電気、LPG、都市ガスの使用量は増加しました。なお、公用車につきましては、ガソリンの使用量は減少しましたが、軽油は令和6年1月に発生した能登半島地震の災害派遣のため、消防や水道の特殊車両が被災地支援に出動したため、使用量が大きく増加する結果となりました。

また、参考として、14ページに「電力使用による二酸化炭素排出係数」を表にしています。これは毎年環境省が公表する数値で、これをもとに二酸化炭素排出量を算出しています。基準年度と令和5年度の排出係数を比較すると、全体的に数値が高くなっているため、結果的に排出量の増加にも影響を与えていると考えられます。

最後に、15ページをお願いします。今後の課題についてです。令和5年度は、第四次江南市地球温暖化対策実行計画の初年度でしたが、総排出量は基準年度と比較して削減率は▲18.9%と、非常に厳しい結果となりました。

ただ、施設分類別に見てみると、LED照明への切替を行った、行政系施設に限れば11.3%削減という結果が出ており、省エネ機器への切替が、温室効果ガス排出量の削減に大きく貢献していることがわかります。

今後、排出量やエネルギー使用量の削減目標を達成するためには、職員一人ひとりの行動に頼るだけでなく、施設改修などハード面での省エネ対策がますます重要になります。これからも、LED照明の速やかな導入や、再生可能エネルギーなどの再エネ率を考慮した施設建設や改修を検討することにより、目標の達成を目指していきます。

私からの説明は以上です。

○会 長

はい。ありがとうございました。今の説明につきまして何か質問等ありましたら、挙手にてお願いします。

○委 員

ご説明ありがとうございます。どうしても基準年度が令和3年度ということで、いわゆるコロナ禍で世の中の活動が停滞しているものに対して、単純に令和5年度と比較すると経済が活性化されているので、そのまま算出しても当然高い数値が出てしまいます。例えば補足の資料などで、令和4年度のある程度通常の生活に戻ってきた数値と比較するというのも1つの考えなのかと思いますが、どうでしょうか。

○事務局

少し補足説明をさせていただきます。第四次計画は基準年度が令和3年度で、計画初年度が令和5年度ですので、間の令和4年度の実績をお知らせしますと、総排出量は7,386 tでした。これに対して、令和5年度は7,200 tですから、数値としては下がっています。要因としては、先ほどの説明にもあったように、市役所の本庁舎や消防署を一気にLED照明に切り替えたことが大きいと思います。令和5年度は toko+toko=labo という図書館と複合施設ができたにも関わらず令和4年度より削減できているということは、確実に成果は出ています。

第四次計画の最終目標は令和9年度の4,361 tですが、この数値は政府実行計画が、2030年度までに2013年度比で50%削減することを目指しているため、それに対応した数値です。その目標に対して、どうやって進めていくのかというところだと思います。

○会 長

ありがとうございます。他に何かありますか。

○委 員

LED照明の導入や、エネルギー使用量の見える化など、事務局の環境課が一生懸命取り組んでいるなという印象を持ったのですが、計画にある削減目標を達成するには、新たに庁舎などを建築・改築するときに、ZEBや省エネに対応した建築だとか、新しい庁舎の省エネ化というのを市としてどうやって考えていくかだと思います。

あとは、緑化についても、市の建築物というのは一度完成したら、その後緑地が増えたりはしないので、既存の緑地をできるだけ残したり、緑地の質をどうやって上げていくかなど、今後計画を見直す際にはそういったことについても具体的な取り組みを入れられるといいのではないかと思います。

○事務局

貴重なご意見ありがとうございます。市の実行計画を進めていくにあたって、先日、各公共施設を管理する担当課長を集めて、脱炭素推進会議を開催しました。その中で、各課の捉え方や、これからどうしていくといいかというところを確認してみたのですが、やらなければならないという意識はどの課も持っているようでした。ただ、やるにしても財源の確保が必要なので、そこは難しい問題だと思います。

その中で、建築の担当課からは新築のZEBもいいけれど、改修時に実質ゼロを目指すのも有りだという意見がありました。なかなか新築のZEBというのは金額的な問題もあってハードルが高いですが、既存の建物、たとえば市役所の

本庁舎について省エネ診断を受けて、どうやって進めていくと実質ゼロに近づけられるかということを取り組みの1つとしてやっていきたいと思っています。

○会 長

ありがとうございます。今の話について、質問などはありますか。

○委 員

市役所としては、需要があればそれに応えていかなければいけないので、新たな施設をつくれれば、必要な電気やエネルギーは増えていくということですよ。その中で計画の目標値を達成するためにはどういう施策・取り組みが必要なのかというのを明確にする必要があると思います。

○事務局

まずは昨年度LED化によってある程度の省エネ化はできたので、今後省エネ診断の委託を検討していくところです。ただ、実質ゼロを目指すには、創エネ面での設備投資も必要になってきますが、そうすると設備投資の金額が大きくなってくるので、そのあたりのバランスが取れるかどうか、財政部局の理解を得られるかどうか難しいところです。

○会 長

実際、今年の夏くらい暑いと、エアコンを使わないでとは言えないですよ。むしろ、熱中症予防のために積極的に使わないといけない。それを市内全体でやることを考えると、公共施設だけではなくて、江南市民全員が考えていかなければいけない、ということももっと啓発していかなければと思いますが、いかがでしょうか。

○事務局

確かに最近の風潮として、中小企業でもCO2排出量削減のためになにか取り組まなければ、という雰囲気になっています。その前段階で、市が率先して設備投資に取り組んでいけるように、財政部門と協議していきたいと考えています。

○委 員

今、小中学校では体育館が暑すぎて体育の授業ができないという状況になっていますし、体育館は災害時の避難所でもあるので、おそらく数年のうちにはエアコンをつけるという流れになると思いますが、そうなったらますます目標

を達成することが難しくなります。設備投資の金額のことを考えると、それこそ技術革新で太陽光パネルが大幅に安くなったり、蓄電池の性能が非常に上がるだとか、そういうことに期待せざると得ないのかなと思うのですが。

○事務局

電気自動車にしてもそうですが、財政部門と導入のタイミングについてせめぎ合いになることもあって、経費的な部分で折り合いをつけるのが難しいところではあります。

○委員

生活の中でも省エネに関する取り組みは大切だと思いますが、公共施設で、この真夏にお手洗いの便座が温かい設定になっているところがあります。そういった、一般家庭でもやっているようなことが公共施設でできていないということもありますので、細かいところから1つ1つ取り組んでもらえれば、少しずつ数値も改善されていくのではないかと思います。

○会長

ありがとうございます。他に何かございますか。

○委員

計画でCO2排出量削減の基準となるのが、電力会社ごとの排出係数だと思うんですが、この排出係数はどういう基準で決まっているのか教えていただければと思います。

○事務局

排出係数については、環境省のほうで計算方法が決まっています、ざっくり説明すると、電気事業者が販売した電力を発電するためにどれだけの二酸化炭素を排出したかを推し測る指標で、二酸化炭素排出量と販売電力量をもとに算出されます。なので大手の電力会社は販売量が多いので、若干排出係数が低い傾向にあります。逆に、電力自由化以降に参入された電力会社で、自社で発電所を持たず、他から電気を買っているようなところは比較的排出係数が高くなりがちという傾向はあります。

○委員

排出係数が高いかわりに、電気料金は安いということもあるんでしょうか。

○事務局

そうですね。市役所でも、公共施設すべて同じ電力会社で契約しているわけではなく、担当課ごとであったり、ある程度は総務課が一括して契約しているものもあるんですが、入札で業者を決めると金額優先になってしまうので、それで排出係数が他より高い電力会社と契約している施設もあるのかなという印象です。

○委員

排出係数について、原子力発電所がほとんど稼働していないときと、稼働しているときでどれくらい差があるんでしょうか。

○事務局

原子力発電所が稼働しているときということ、東北大震災の前ですね。ちょっと今この場でどれくらい数値が変わったかというのははっきり申し上げられないんですが、火力発電と比べれば原子力発電はCO₂排出量が少ない発電方法なので、それがフル稼働していたころは、今よりも排出係数は低かったかもしれません。ただ、特に大手の電力会社などは太陽光や水力などの再エネ電力を組み込んでいて、そういったものがどんどん増えれば排出係数は下がりますので、一概に原子力発電の縮小で排出係数が上がっていくとは言えないのではないかと思います。

○委員

国のほうでも、できるだけ環境に配慮した電力供給を、ということで指針を出していますので、そういったものに準じて、排出係数ができるだけ低いところと契約するような取り組みをしていけるといいと思います。

○委員

CO₂削減ということで、今、愛知県で取り組んでいるのは、送迎バスや旅行会社のバスを電気自動車に切り替えていくために、県や市が助成を行っているという話を聞きます。いわゆる電気自動車への切り替えは、公共機関はほとんど今頭打ちの状態になっているので、これ以上に進めていこうと思うと、一般企業や飲食店の送迎バスを、電気自動車に変えていくと随分とCO₂を削減できるそうです。ですからそれに伴って助成金を出してるということなんですが、江南市の方は今後導入を見込んでいるか、そのあたりをお聞きしたいです。

○事務局

民間への助成については、今のところなかなかそこまでは方向づけができなくて、それよりはまず市から率先して電気自動車への切り替えを行うべきじゃないかというのが、今のところの市の立場です。民間からの要望もいただいているんですけれども、実際にまだ、なかなかそこまで至らないという状況です。

○会 長

他に意見がなければ私からも1つ。

さきほど委員さんがおっしゃったように、緑化の問題も本当に進んでないと思います。例えば、企業が広大な敷地を作った場合、当然義務として緑化をしなければいけません。ただ、緑化に使われるのはほとんど低木ばかりです。高木が増えたら、後のメンテナンスが大変だからという理由だと思うんですが、実際、山とか大きい木が多いところに行けば涼しいですよ。それを今は、緑化をするどころか、緑を壊して私たちは生活しています。

特に江南市を見ていて、いつも言うことですが、本当に耕作放棄地が多い。ほとんどは草を刈るどころか除草剤を撒いています。近所でも、ひどい日は家の中にも除草剤のにおいがします。でも現状、江南市ってそんなところばかりですよ。やはりそういったことも、環境課とは違うかもしれませんが、担当課にも強く言っていないと。ただCO2だけをなんとかしたいとか、そういう問題ではないと思います。ぜひお願いしたいのは、課を跨いでもっと強い姿勢で行っていただけたら嬉しいかなと思います。

○委 員

緑化の話で、今すぐにできることとしては、道路の街路樹が今、緑の葉っぱがいっぱい茂ってますね。だけど秋になって葉が落ちると、近所の人や文句を言いに来るとか、誰が掃除をするのかとか言って、まだ葉があるのに、ぱっさり剪定して丸坊主にしてるんですよ。会長さんがおっしゃるように、一から木を植えていたら、あれだけの樹木になるのにどれくらいかかるか。

江南市に言いたいのは、土木課なのか環境課なのか分かりませんが、街路樹の葉をそんなに早く切らないでいただきたいです。将来、子供たちや孫たちのために、どんな世の中を私たちは残せるのか。それを担当の課が違うとか言わずに、連携して進めていただきたいです。

○委 員

街路樹の件は、自分も環境問題に関心を持ったとき、江南の緑を調査したことがあります。すごく街路樹が大切だということはよく知っていて、もともと緑が多いところで育ちましたので、江南市の緑というのは、他の市に比べて少

ないということは感じました。それでどうして早くから切るかという、あまり業者が忙しくない時期に発注した方が安く済むとか、そういうことを聞いたことがあります。そういう中で、江南団地は自分たちでイチョウの並木を守ろうということで、自治会みんなで草取りをしたり、木を残すために、すごく努力をされてきました。秋になりますと紅葉がすごく綺麗で、写真を撮ったりいろんな方が来ていましたが、最近は関わっていたメンバーさんたちが高齢になったのか、やはり業者がばさばさ切っています。そういう風に、緑の問題って本当に大切なのに、なかなか私たちが思うようにはなっていないというのが現状です。でもこれを変えていこうと思うと、相当いろんなことをして、具体的な行動を起こしていかないと難しいなと感じております。

○委員

資料10ページの表4ですが、フロン等の漏えいによる温室効果ガス排出量が令和3年度はゼロで、令和5年度が37.54ということで、増えているんですが、冷房機器を使えば多少は漏えいしますよね。少しずつ漏えいして、漏えい量がわかったのが令和5年度ということでしょうか。

○事務局

もしも単年度で漏えいがあったとしても、どれだけ漏れたか目には見えないものですから、法律で決められた3年に1度とかのメンテナンスのタイミングで、減った分を補填したときに初めて数字が出て、その分を計上しているのがこの結果ということです。現状、どうしても毎年チェックして計上するということができないものですから、判明した年に計上しています。

○委員

今のお話とは少し逸れますが、来年の4月1日から建築に関する基準が変わりまして、省エネ基準をクリアしないと建築確認申請が通らなくなります。ですから、例えば市も、学校もそうですが、省エネ基準が通らないと、建物が建てられない状況になってくる。住宅に関しては、今まで建築確認審査が簡略化されていたのが、来年の4月1日からは構造から耐震、省エネまで全て書類を揃えて、基準に適合しないと審査が通らなくなります。住宅は、より省エネ性能を高めようとする、太陽光パネルを設置しなきゃいけないという状況なんです。太陽光パネルの法定耐用年数は15年くらいなんです。15年経って、それをリサイクルできる企業というのは全国でもほとんどないんですね。ということは、それを住宅に設置するとなると、15年後にまた交換しないといけない、そういうリスクがあることを知っていただきたいです。

また、そういった基準ができた場合に、市はどこまで補助金を出してくれるのかということ常を市民は気にしているでしょうから、先ほど財政状況的になかなか難しいというお話もありましたが、そういったことも検討していかないといけないんじゃないかと思います。

○会 長

ありがとうございました。なかなかすぐに答えは出せないと思います。話は尽きませんが、いったんここで切りたいと思いますけれども、皆さんよろしいでしょうか。ただ、環境審議会は今回が1回目ですから、まだ今後も第2回第3回がありますので、また議論できればと思います。

次は、次第3のこうなん環境フェスタについて事務局よりお願いできますでしょうか。

○事務局

それでは、次第3のこうなん環境フェスタについて、説明をさせていただきます。

始めに、環境審議会委員の皆様の中には、こうなん環境フェスタ実行委員の方も多数お見えになりますので、先日開催しました実行委員会の会議内での説明と重複するところが出てくると思いますけれども、環境審議会の場では初めてご報告することになりますので、ご容赦いただければと思います。

2月に開催しました前回の環境審議会では、市制70周年事業といたしまして環境フェスタを開催することを予定しており、決定事項としましては、日時が令和6年10月20日の日曜日、10時から3時半まで、場所がすいとぴあ江南で開催することとしまして、フェスタ自体の企画運営につきましては、令和6年度になってから、実行委員会を立ち上げて協議していくとの報告で終わっていたと思います。本日の審議会では、現時点で実行委員会ですとか、事務局の方で決定したことについてご報告をさせていただきます。

まず、環境フェスタの名称が、前は「(仮称)江南ゼロカーボンフェスタ」となっていましたが、正式に「こうなん環境フェスタ」に決定いたしました。

次に、フェスタの内容について説明をさせていただきますので、お配りしました資料2をご覧ください。今回の環境フェスタをまず実施していくにあたり、初めに事務局から、今まで環境課の業務で関わりのあった企業ですとか、団体の方に対しまして、環境フェスタへの出展の有無や、出展内容についての調査をさせていただきました。そのうち、出店希望のある団体からの出展内容に応じて配置したものが、資料2の配置図になります。こちらの方なんですけれども、現時点での案になりますのでよろしく願いいたします。初めに、屋内で

行うイベントとしまして、多目的ホールの方で、出展団体ごとにブースを設けて、パネル展示を中心に行います。ブースでは、基本的には出展する団体が来場者の方に対して、それぞれの展示内容について説明できるように、可能な限りスタッフを配置する予定でございます。また、多目的ホール内にはステージがありますので、ステージイベントを行います。ステージイベントの内容としましては、江南市のご当地アイドルのダンスステージですとか、出展企業による環境学習の講座、他にも海洋ごみで楽器を演奏する団体の演奏会などの企画を考えておりました、現在、それぞれの団体に対して出演に向けて調整をしているところでございます。

その他に行うイベントとしましては、1階の小研修室では、保護猫の譲渡会や環境に関する絵本の読み聞かせを行う予定であります。2階の研修室ABでは、来場者自身が験できるようなイベントとして、様々なものづくりの体験ブースやおもちゃ病院など、ほかにも幾つかの出店を予定をしております。

次に、屋外で行うイベントなんですけれども、こちらは水素自動車や電気自動車の展示、また、働く車の試乗体験ですとか、フリーマーケット、その他キッチンカーの方にも5台ほど出店をしていただきまして、来場者の方においしい食事などを楽しんでいただきたいというふうに考えております。

また、屋内と屋外の共通のイベントとしまして、お子様をターゲットにスタンプラリーを行い、会場内の各所にスタンプを配置しまして、フェスタ全体に来場者が行き交うような動線ができればというふうに考えております。

最後に、まだ確定はしておりませんが、企画のイベントとしましては、規格外野菜の販売ですとか、フードドライブ、あと粗大ごみのリサイクルなども現在実施に向けて調整中ですのでご報告をさせていただきます。以上がこうなん環境フェスタのイベントの内容の説明になります。

続きまして、資料3をご覧ください。こちらは、こうなん環境フェスタの令和6年度の予算案になります。今回の予算につきましては、まず収入といたしまして、こうなん環境フェスタ委託料の130万円と、江南市レジ袋削減推進委員会からの寄付金の50万円の合計180万円が収入となっております。

次に支出につきましては、上から順番に説明をさせていただきます。

まず報償費といたしまして、環境フェスタに出展いただく団体、企業を除いた環境団体などに対する謝礼が、10団体分で15万円。あと、ステージイベントの謝礼としていたしまして30万円の合計45万円を見込んでおります。

次に需用費としまして、フェスタの看板ですとか、景品の等の消耗品で36万6,300円、スタッフ用の軽食として7万円の食糧費、それからポスター印刷代ですとか、写真の現像代の焼き付けの印刷製本費として5万円の合計48万6,300円を見込んでおります。

次に役務費としまして、2万5,000円。

最後に使用料及び賃借料といたしまして、フェスタの会場である、すいとぴあ江南の会場使用料の金額23万8,700円と、フェスタで使用するパネルやテントなどの備品の借上料として60万円の合計83万8,700円を見込んでおります。

収入と支出の内訳につきましては以上となりますけれども、あくまで現段階では、事務局の方で作成しました予算案という形になりますので、今後実行委員会ですとか、役員会等で出た意見を踏まえながら変更していくこともございますので、よろしく願いいたします。私からの説明は以上となります。

○会 長

ありがとうございました。審議会メンバーで環境フェスタの実行委員になっているメンバーも多いですけれども、どなたか何か質問ありましたら。

○委 員

では、予算についてお聞きしたいと思います。

今年度は、70周年記念ということで委託料が130万円と、寄付金が50万円。環境フェスタの開催は数年ぶりということですが、前回の予算はおいくらだったんでしょうか。

○事務局

前回、令和元年度に開催した際も委託料は同じ130万円でしたが、前回は寄付金がありませんでしたので、フェスタ全体の予算としては130万円で開催しております。

○委 員

70周年といえども、変わらず130万円なんですね。ではその寄付金の50万円は有効に活用していきたいですね。

あと、支出の中でステージイベントの謝礼が30万円ということですが、これは有名な方をお呼びしてパネルディスカッションなどをやるのでしょうか。

○事務局

ステージイベントの謝礼につきましては、実行委員さんから紹介をいただきました、ゴミンゾクという団体がありまして、こちらは海洋ごみを使った楽器で演奏をする「海洋ごみ楽器集団」とのことです。今回の環境フェスタの企画の趣旨にも沿っておりまして、こちらに関しては事務局から依頼をして出演をしていただくものですから、他の団体よりも謝礼が多くなっております。過去

の出演料ですとか今実際にやりとりをしている中で、大体 30 万円ぐらいを謝礼金として見積もって計上しております。

○委 員

ありがとうございます。そうすると、できれば、少しでも市民の多くの方に来ていただきたいので、広報費用の方にちょっとでもお金を回して、1 人でも多くの方に来ていただけるような、広報活動費、販促費なんかも入れ込んでもらえると、もっとこの 50 万円が、活かされるんじゃないかと思っております。

○会 長

ありがとうございます。他に何かありますか。またもし何かお気づきのことがありましたら、事務局にお話をいただいて、予算の関係もちろんありますけど、成功させたいと思います。

その他、何かありますか。

○委 員

最近新聞で江南市が SDG s 未来都市に選ばれたという記事を読みました。助成金が 2,000 万円ほど出るそうですが、今後どのように進んでいくのか、そこをお聞かせいただきたいです。

○事務局

SDG s 未来都市の関係については、推進本部会議が今週開催される予定です。主体は企画課ですが、経済・社会・環境という 3 つの側面から新しい未来をつくっていくようなイメージになっています。環境面としては、再生可能エネルギーの普及活用というものがあまして、環境課としてはその部分で情報提供や協力をしながら進めていく必要があると思っております。

○会 長

ありがとうございました。他に何か事務局の方で補足するようなことはありますか。

○事務局

次回の環境審議会ですが、11 月 15 日の 14 時からを予定させていただいております。場所は同じ第 3 委員会室です。正式にはまた文書でご案内をさせていただきますのでよろしく願いいたします。

○会 長

ありがとうございます。次回につきましても、皆様お忙しいとは思いますが、ぜひご協力いただければと思います。

では本日は長い時間、いろんな意見をお聞かせいただき本当にありがとうございます。それでは、これで第1回目の環境審議会を終了させていただきます。どうもありがとうございました。